

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。
大分県内の農林水産業の中から選りすぐった旬の話題を県拠点からお届けします。

「平成30年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」

未来につながる持続可能な農業推進コンクールは、持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を表彰し、その取組や成果を広く紹介することによって、関係者の意欲を喚起し、国民の理解を深めること等を目的として表彰を行っています。

平成30年度のコンクールにおいて、GAP部門で生産局長賞を「大分県立三重総合高校久住校」(平成31年4月より「大分県立久住高原農業高等学校」に校名が変更)が受賞しました。

また、九州地域における有機農業・環境保全型農業部門で九州農政局長賞に「株式会社 ohana本舗(臼杵市)」が受賞しました。

生産局長賞！～ 大分県立三重総合高校久住校の取組 ～



【30年12月 ASIAGAP 認証取得】

○これまで実践してきた「環境保全型農業」から一歩踏み出し「安全で安心な農産物生産」を目指す為、GAPの取組を導入。平成24年にJGAP認証を24品目で取得。30年12月にはASIAGAP認証を取得。

○全生徒が、GAPを学習できるカリキュラムを組み入れ、GAP認証審査を生徒中心で対応。

○GAPを学んだ卒業生が中心となり、進学先(大分県立農業大学校)において、全国で一番早くJGAP認証を取得するなど、教育機関へのGAPの普及に貢献。

九州農政局長賞！～ 株式会社 ohana本舗の取組 ～



【31年3月九州農政局での表彰式】

○栽培品目約40品目について綿密な栽培計画を立て、随時見直ししながら、効率的な作業や安定した出荷に取り組む。

○パソコンやスマートフォンで圃場毎に作業記録を入力することで、作業の進捗や管理状況を把握。

○県内の有機農業者と共同出荷グループを構成し、生産出荷計画を一元管理。生産から販売まで一貫して管理出来る体制を構築し、安定出荷及び経営の安定化につなげる取組を行っている。

※ GAP（農業生産工程管理）とは

GAP(Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理)とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

GAPに取り組むということは、①整理整頓や生産履歴の記帳を基本として、②農場内を点検し、課題や問題点を見つけ、③改善していくことです。

2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、選手村などで提供される料理にGAP農産物がつかわれます。詳しくはこちらから→→→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html>



スマート農業実証プロジェクト始動！

農林水産省ではロボット、AI、IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を加速化するため、生産から出荷まで一貫した体系として導入・実証する取組を全国で69件採択しました。

大分県からは、[オーエス豊後大野ファーム](#)での「白ねぎ大規模経営体における大苗定植と省力機械の導入による新たな効率的生産体系の実証」と[タカヒコアグロビジネス](#)での「大規模施設園芸の生産性を飛躍的に向上させるスマート技術体系の実装」の2件が採択されています。

詳しくはこちらから→→→<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/index.html>



総合化事業計画の認定証交付式！

「豊のしゃも」は県畜産試験場で誕生した大分県オリジナル地鶏です♪



大分県拠点は平成31年4月10日に、豊後大野市役所において、「農事組合法人大分県豊のしゃも生産者協議会」に総合化事業計画の認定証を交付しました。

今後は、同協議会が生産する大分県産地鶏「豊のしゃも」と、解体の際に発生し廃棄していたガラを活用して、「炊き込みご飯の素」、「豊のしゃものスープ」を開発、製造、販売し、協議会の所得向上及び経営改善に取り組まれます。

※ 農林漁業者等が農林水産物等の生産及びその加工又は販売を一体的に行う事業活動計画を「総合化事業計画」といい、認定されると様々な支援を受けられます。



農作業安全のポスターを募集しています！

農林水産省は、春の農作業安全確認運動の一環として、「平成31年（2019）農作業安全ポスターデザインコンテスト」を開催します。6月21日締切りです。

詳しくはこちらから→→→<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/sizai/190325.html>



農業者団体等との意見交換会

平成31年2月27日に豊後大野市で新規就農された生産者の方々とJAや行政機関（市、県、国）を交えて意見交換を行いました。

新規就農者の現状や課題、農地や労働力の確保等について多くの意見・要望が出されました。



前畑参事官就任の挨拶

「#」をご覧の皆さん、こんにちは。この4月より赴任しました大分県担当地方参事官の「[前畑博幸（まえはたひろゆき）](#)」です。

私ども大分県拠点は、皆様に最も身近な農林水産省の出先機関です。現場と農政を結ぶため、生産者はもちろん消費者を始め事業者など多くの方々の声を中央へ繋ぐ仕事をしております。そのためいろんな方々と意見交換を行うなどして情報を集めておりますので是非参加してください。

あわせて、農業のこと、食べ物のことなど身の回りの疑問などありましたら、是非気軽にご相談ください。お待ちしております。

鹿児島県出身です
よろしくお願いします！



前畑参事官

